



PIWU 広中

郵政産業労働者ユニオン

2021年11月4日

第258号

発行：郵政産業労働者
ユニオン 広島中央支部
TEL・FAX 082-244-7719
E-mail piwu-hirochu@
abelia.ocn.ne.jp

土曜休配で 職場はどうなった？

各集配部で

影響は様々

2021年10月2日の土曜日から、土曜休配が始まった。翌週月曜日の物量は200%の集配部もあったと聞く。各集配部で補助要員を2〜3名配置での対応をして、予想を超える混乱は無かったようである。

これまでの交付物数は月曜日が多く、その後火曜日から金曜にかけてなかなか物数で移行していたが、土曜休配により火曜日の物数が増え、その他の曜日にも全体的に多くなり、事故処理等の作業に支障をきたしている職場もある。

衆議院選挙や大量のバルク等の影響で、正確な違いが不透明であるが、これから年末年始繁忙期を迎えるため、更に状況はつかめないまま、新年を迎えるだろう。

混乱は

郵便内務の職場で...

土曜休配とはいえ、速達・書留・ゆうパックは、これまでと変わらない。

広島中央郵便局は一般局になったのだから、要員を減らせ！との指令のもと郵便内務ではこの間、減員へと進めていき、特殊係のベテランの期間雇用社員2名が退職することになり年休消化中のため、普通通常担務の期間雇用社員から速達担務へ・・・。

さすがに速達・書留を次の日まわしには出来ない。当然普通通常の手区分は未処理となる。

東京からの飛行機便減便の影響で、昼間に到着していた特殊扱い郵便が遅延で深夜帯に到着し、お客様からの苦情も多い。現場の社員は深夜帯での作業の激務で体調不良を訴えていて、実際病気の発覚も起きている。

2021年度年末年始繁忙要求書の提出について

以下の通り要求書を提出するので、誠意をもって早急に回答すること。

- 1、 2020年度の年末年始繁忙についての総括及び、2021年度の基本的な考え方を明らかにすること
- 2、 土曜日配達休止による年末年始繁忙の変更点について外務、内務について説明すること
- 3、 年末年始繁忙における13項目を提示すること
- 4、 業務研究会を全社員対象で行うこと又、年末年始の業務計画は、現場の声を尊重すること
- 5、 コロナ、インフルエンザ対策も含め、社員の健康管理の徹底、労働災害防止に最善を尽くすこと。又、マスク・消毒液・うがい薬の在庫を十分確保することや、換気対策やソーシャルディスタンスを徹底すること
- 6、 短期雇用社員が増えるため、休憩室、食堂、更衣室等の増配置すること
- 7、 クラスターの発生やコロナ感染者が出た場合の対応について明らかにすること
- 8、 インフルエンザ対策として、昨年同様に予防接種を実施すること
- 9、 年賀葉書、カタログ営業に関して、販売実績の低調な社員に対し、販売の強要は行わないこと
- 10、 1月1日から1月3日の間に全社員に対して休日を付与すること
- 11、 年内、年明けの廃休・非番日労働は行わないこと
- 12、 連続勤務は、8時間勤務以下の社員は6日、10時間勤務の社員は5日以内となるよう勤務指定をすること
- 13、 年次有給休暇の請求は正規取り扱いすること
- 14、 12月31日から1月3日までの間、超勤をさせないこと
- 15、 勤務時間管理を徹底し、休憩・休息が確保できるように指導すること（マイク放送も含めて）
- 16、 12月25日（土）12月26日（日）12月27日（月）1月1日（土）1月2日（日）1月3日（月）の要員配置を明らかにすること
- 17、 短期アルバイトの雇用は、雇用計画通りの人員を早期に確保すること
- 18、 年末年始の休みに入る前に、業務に必要な物品を確保すること。
- 19、 小包受託の会社に22時まで返納出来るような体制を要請すること
- 20、 5集に、四駆車両を配備すること、又、2輪バイクの更改基準を明らかにすること
- 21、 年末始の通常郵便物は2パス交付するよう要請すること。
- 22、 郵便部での突発欠務等による業務運行について具体的な対応を明らかにすること
- 23、 土曜休配で速達・レターパックの物増による対応を明らかにすること
- 24、 年賀郵便の私書箱再調について、管理者含め郵便部全体で対応すること